

八王子市議会議員

くさかべ 広志 通信

日下部

KUSAKABE
HIROSHI
REPORT
No.04



E-mail

kusakabe@zk9.so-net.ne.jp

LINE@



ホームページ



Facebook



Twitter



御挨拶

新年の出発にあたり、ご挨拶を申し上げます。

いよいよ、本年は夏にオリンピックを控え東京が国際的な舞台となる年を迎えます。本市においても、高尾山に五輪オブジェが設置され、聖火リレー、自転車ロードレースが市内を駆け

抜けます。私自身も、若い力で、新しい視点で、新しい時代を切り開くために、本年も全力で駆け抜けてまいります！

結びに今年一年の皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。 八王子市議会議員 くさかべ広志

市議会レポート！



令和元年第4回定例会4日目の本会議において、「災害時の情報伝達手段」、「子供を見守る安心・安全」の2点について質問を行いました(要旨)。

【災害時の情報伝達手段について】

Q. この度の台風被害を受けて、「防災メールは市内全域に同じ内容が送信されるため、避難場所がどこに開設されているのか分からない」など、市民の方から多くの声があった。防災情報メールに関しては、地域を分割し配信すべきではないか。また、避難所の開設情報に関しては、**GoogleMapを活用した情報発信**などを積極的に取り入れ、必要な情報を届けていくべきではないか。

A. (生活安全部長) 情報伝達の手段は、SNSの活用を含め様々な方法が考えられる。緊急性や実現性など、検証を行い、優先順位をつけて対応していく。

Q. 今後は、よりリアルタイムな情報発信を行うため、様々な情報伝達手段を活用するのははじめ、**情報発信を行う体制の構築**も非常に重要になってくる。災害時には情報発信を行う専門チームを立ち上げ対応をすべきだと考えるが、副市長の所見を問う。

A. (木内副市長) 市民がみずからの身をまもるために的確に判断・行動するためには、正確な情報をタイムリーに得ることが必要不可欠だと考える。適切に情報発信をするためには、**専門チームの設置も必要だと考える**。今回の対応を検証し、改善を進めていく。



【子どもを見守る安心・安全について】

Q. 市では平成16年より小学校入学時に防犯ブザーの配布を行っているが、他の自治体では**ICT技術を活用した様々な防犯対策**を導入するところも増えている。子どもを危険から守るため、本市でもGPSやICタグを活用した防犯対策を取り入れるべきではないか。

A. (学校教育部長) GPSやICタグなど、ICTを活用した機器の導入は安全対策として一定の犯罪抑止効果があることは認識している。今後は、ICTを生かした機器の活用を含め、防犯対策として最も費用対効果の高い機器を選定していこうと考える。

産後ケアのさらなる充実を目指して

市議会公明党は、2019年11月27日、ドゥーラ協会の宗祥子代表理事と梁川妙子理事(元中野区議会議員・公明党)を講師としてお招きし、「はぐくみ、つながる子育て支援～マニュアル化子育ての限界」とのテーマで勉強会を開催しました。

近年、子育てにおける母親の孤立が大きな社会問題となる中、出産施設から退院した後の、母親の日常生活に対するサポートは圧倒的に不足しています。

こうした社会状況を背景に、産後うつや乳幼児虐待に発展するケースがあることから、不安感を抱えやすい産後直後の女性を支える新たな取り組みが急務となりました。

産後ドゥーラ(ドゥーラ協会が行う養成講座を受講・登録した子育て支援員)は、産後の女性の家を訪問し、家事代行、子どもの世話、育児相談のほか、病院や行政機関などにつながり役割も果たします。

中野区、杉並区、世田谷区などでは、産後ケアの充実を図るため、すでに「産後ドゥーラ派遣」事業を行っています。八王子市においても、産前から産後にかけて継続した支援が求められていることから、産後ドゥーラの導入を含め、産後ケアの充実を目指してまいります。



八王子市役所全員協議会室において



一般社団法人
ドゥーラ協会

幼児教育・保育無償化について実態調査運動を展開

2019年10月に「幼児教育・保育の無償化」がスタートしました。

これは長年、公明党が取り組んできた大きな成果であり、「経済的負担が軽くなった」と、多くの子育て世帯から喜びの声が寄せられています。一方、いくつかの課題があることから、課題解決のため公明党所属の全議員が現場に伺い、利用者・事業所の双方の実態調査を行いました。

12月6日には中間報告が公表され、利用者の約9割が「評価する」とし、事業者からは「事務負担が増えた」などの回答が寄せられました。

公明党は、今回の実態調査で見えた課題に真正面から向き合い、子育て支援策の充実をめざしてまいります。

通算6回目の議会報告会を開催

八王子市議会による「議会報告会」が、2019年11月15日(金)クリエイトホールで開催されました。

議会報告会は、市民に開かれた議会を目指して2014年4月に制定した議会基本条例に基づき、公明党の強力な推進で2013年に第1回目を実施、以降は年1回ペースで開催し、今回が6回目となりました。

報告会では、市が行う「給食センターの設置」「空き家等の対策」が、市議会のリードにより実現した成果であることを各常任委員会から紹介。

これからも、より身近で、開かれた議会を目指し、公明党が先頭に立ってさらなる改革を進めてまいります。

子どものいじめを許さない教育環境をつくる！

—いじめ防止強化のために—

八王子市では、いじめ防止に向けた取り組みを強化するため、本年4月から学校、子どもへの支援体制の充実を図ることになりました。

スクールソーシャルワーカーは6名から10名に増員。さらに、こうした職員を専門的な知見から指導、助言する学校心理士スーパーバイザーを配置します。

また、学校での指導範囲を超える対応困難な諸問題について法的助言を行う弁護士を登用するスクールロイヤー制度が創設されます(法律相談は1月からスタート)。

こうした支援強化の必要性は、市議会公明党が粘り強く訴え実現した取り組みです。子どもが健やかに成長する教育環境をつくるため、更なる充実に努めてまいります。

